

감사합니다！仁荷大学！

教育学部 学習社会ネットワーク課程 渡邊望

私は1学期間、韓国の仁荷大学に交換留学で行ってきました。元々、一度は海外で生活してみたいという思いがあったため、留学することを決意しました。韓国を留学先に選んだ理由は、とても単純ですが韓国が好きだからです。韓国のドラマや音楽がきっかけで、韓国の伝統、文化、生活に興味を持ち始め、韓国が好きになりました。その自分が好きな国での生活は非常に充実しており、毎日が楽しかったです。

韓国では大学の寮に住んでいました。4人部屋で、日本人2人と香港人2人でした。ルームメイトの香港人2人は初めの頃、全く韓国語が話せなかったため、英語で会話をしていましたが、私たち日本人2人は流暢に話せるほど英語が得意な訳ではなかったのも、コミュニケーションをとるのに苦労することが多かったのです。しかし、時間が経つにつれて互いに韓国語、英語の能力が向上し、さらには双方の国の言葉を教え合って使うようにな

りました。寝るときはいつも、「잘자 (チャルジャ)」 「早啐 (ジョウタウ)」 「おやすみ」とみんなが韓国語・広東語・日本語の三か国語であいさつをしていたのがとても思い出に残っています。やはりルームメイトとは一緒に過ごす時間が多かったため、仲良くなり、帰国した今でも連絡を取り合っています。海外に仲の良い友達がいるというのは自分にとって、とても価値のあることだと思います。

大学の授業は、留学生向けの韓国語の授業に加え、日本語学科の授業もとっていました。外国人がどのようにして日本語や日本文化を学ぶのか、ということに興味があったため日本語学科の授業を選んだのですが、その授業がきっかけで韓国人の友達がたくさんできたので本当に良かったです。授業では、日本語でのグループ発表などもあったので、日本語を教える機会が多くありました。私は友達に教える立場ではありましたが、韓国語で日本語を説明するため、私としても非常に勉強になりました。そうしたこともあり、次第に韓国語の能力が上達しました。私の場合は、1学期間と時間が限られており、部屋にこもって勉強する時間よりも、外に出て遊ぶ時間を優先したため、読み取りや単語、文法というよりも、聞き取りや会話能力が上達したと思います。留学といえば、もちろん勉強することが大事ですが、それ以上に日本ではできないことをしたり、いろんな場所へ出かけたり、その国で出会った友達と遊んだりすることが大事だと考えます。仁荷大学で過ごした半年間は私にとってかけがえのない時間でした。

一度は留学してみたいと考える人は少なくないと思います。しかし、周囲の反対や経済状況など様々な理由であきらめてしまう人もいるでしょう。韓国というと、決して良いイメージだけではないので、反対されることも多いのですが、幸い私の両親は快く承諾してくれました。同じ学科の友達も私の留学中にみんなで韓国まで旅行に来てくれました。留

学を機に日本の友達にも韓国の良さを知ってもらえて嬉しかったです。また、新潟大学留学交流推進課の担当のみなさんは、留学前も留学中も留学後も親身になってサポートしてくださいました。本当に周りに恵まれていたと思います。ありがとうございました。

留学について悩んでいる方は、せっかくの大学生活の時間、自分の意志を無駄にしないために、思い切って決断してみたら良いと思います。



